

2016年3月期決算 説明資料

2016年6月7日
株式会社やまびこ

1. 2016年3月期		
決算概要	2
2. 2017年3月期		
業績見通し	10
3. 添付資料		
会社概要	16

1. 2016年3月期 決算概要

**総括：国内は排ガス規制前の駆け込み需要などで乗用型防除機が伸長。
海外は、主力のOPEは北米が景気拡大や順調な天候を背景に好調に推移したものの、欧州がロシアの低迷のほか、西欧諸国も熱波の影響などにより伸び悩んだ。**

《 セグメント概況 》

市場	セグメント (分野)	動 向	概況
国内	小型屋外作業機械	●一昨年の米価下落による影響などで小型防除機が減少したものの、チェーンソーの新製品効果やホームセンタールートで刈払機が引き続き好調となったことなどにより堅調。	
	農業用管理機械	●農業機械出荷実績は4-3月累計出荷額、前年比▲10.1%の減少(日本農業機械工業会統計)という市況の中、排ガス規制前の特需により乗用型防除機等が伸長。	
	一般産業用機械	●4-3月の国内建設機械出荷額は前年比0.5%の増加(日本建設機械工業会)で前年並み。人材不足や公共投資の減少などが続き、投光機等が落ち込む。	
海外	小型屋外作業機械	●北米市場：失業率の改善に加え、住宅着工件数が前年比プラスで推移するなど、景気拡大が継続。順調な天候を背景に販売数量が伸びた。	
		●中南米市場：長引く政治・経済問題により、依然として販売低迷が続く。	
		●欧州市場：チェーンソーの新製品効果が見られたものの、ロシア市場は低迷が続いたうえ、西欧主要国も初夏の熱波の影響などにより主に刈払機が伸び悩んだ。	
	農業用管理機械	●北米市場：穀物価格の低迷が続き、主力の大型収穫機などが減少。	

2016年3月期 経営成績



(百万円)

	15/3期		16/3期		前期比(%)
		構成比(%)		構成比(%)	
売上高	105,251	100.0	113,348	100.0	+ 7.7
売上原価	74,846	71.1	80,771	71.3	+ 7.9
販管費	24,717	23.5	25,846	22.8	+ 4.6
営業利益	5,688	5.4	6,730	5.9	+ 18.3
経常利益	6,447	6.1	6,402	5.6	▲ 0.7
親会社株主に帰属 する当期純利益	4,910	4.7	4,700	4.1	▲ 4.3

為替レート ※期初の想定為替レートは1ドル115円、1ユーロ130円。

1ドル	当社レート	110 円	121 円
	米国子会社 換算レート	106 円	121 円
1ユーロ		139 円	134 円

- ✓ 売上高は、主力の北米OPEや国内農林ルートで販売数量を伸ばし、加えて円安により増収。
- ✓ 損益面は、円安による押上げがあったものの、原価率の上昇や為替差損が発生(前期は差益)したことに加え、欧州子会社の減損損失の計上が下押し要因となった。

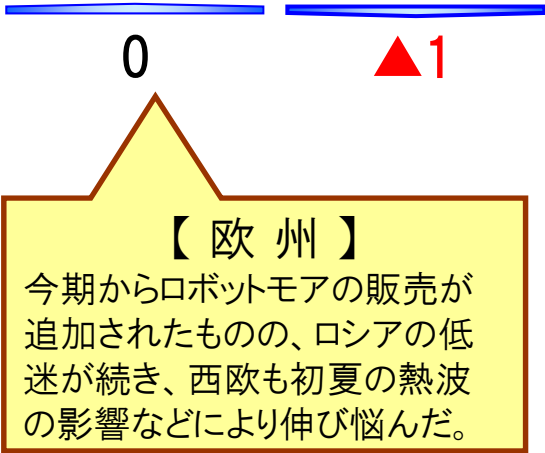
連結売上高の増減

(億円)

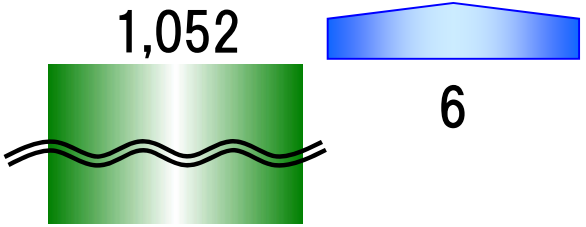
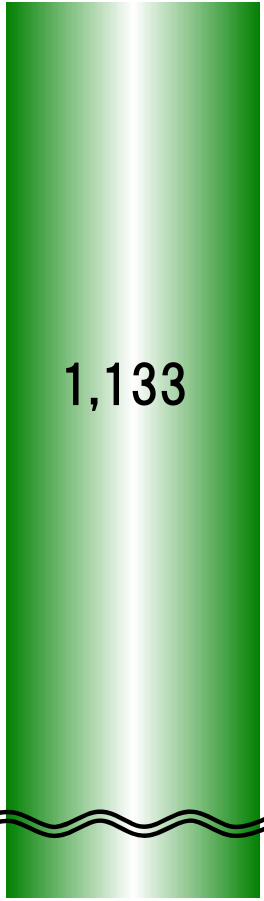
【米州】
 主力の北米でOPEが製品ラインアップの充実や各種拡販策により伸長。加えて円安により大幅増収。農機と産機は低迷が続いた。

【国内】
 産機は依然として厳しい状況が続いたが、農機が排ガス規制に伴う特需などにより伸長し、OPEも新製品効果により増収。

【その他海外】



▲1

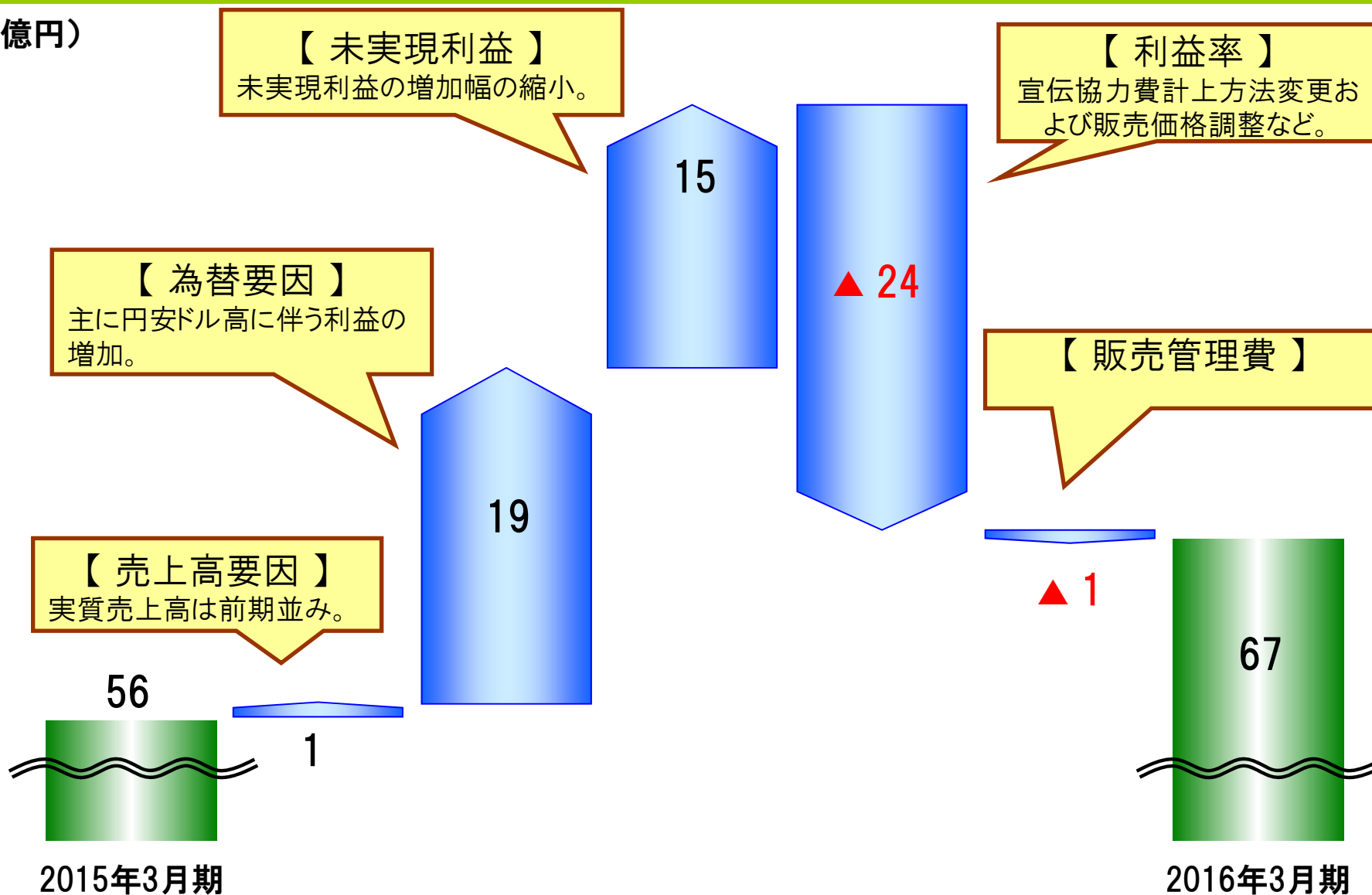


2015年3月期

2016年3月期

連結営業利益の増減

(億円)



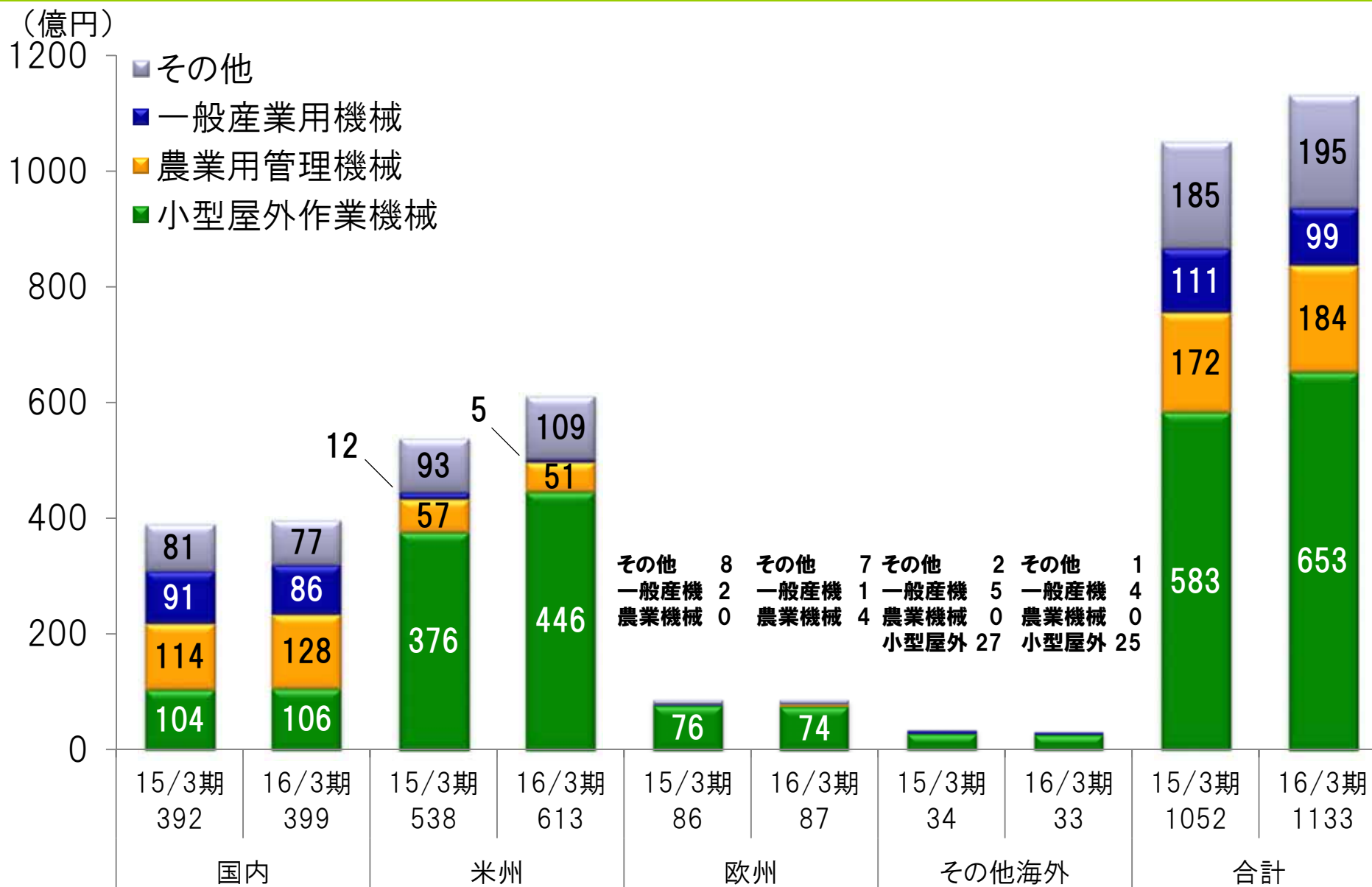
セグメント別経営成績



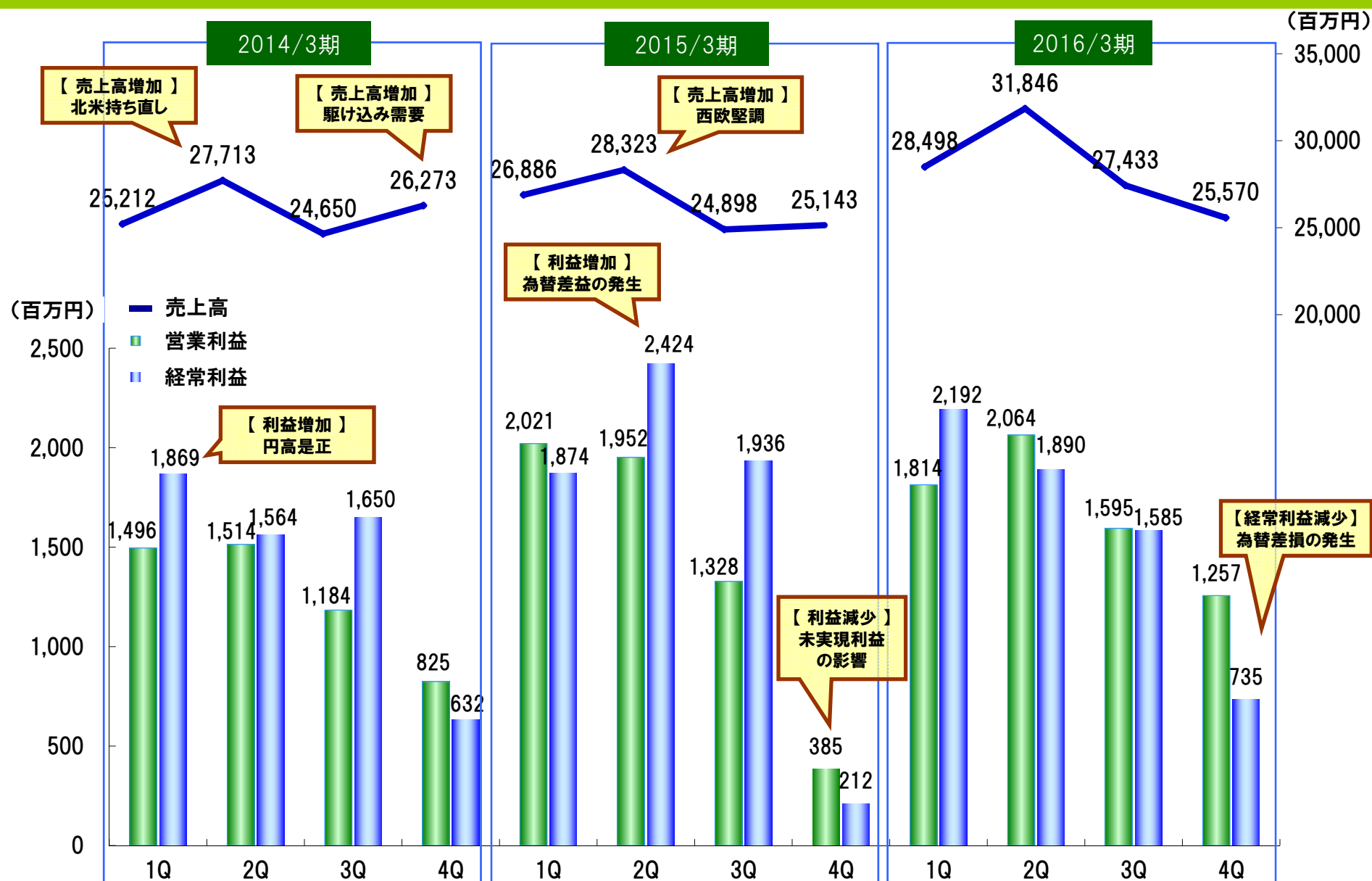
(百万円)

	15/3期		16/3期		前年同期比
		構成比(%)		構成比(%)	増減率(%)
売上高	105,251	100.0	113,348	100.0	+ 7.7
小型屋外作業機械	58,361	55.4	65,368	57.7	+ 12.0
農業用管理機械	17,202	16.3	18,494	16.3	+ 7.5
一般産業用機械	11,176	10.6	9,935	8.8	▲ 11.1
その他	18,511	17.6	19,549	17.2	+ 5.6
営業利益	5,688	-	6,730	-	+ 18.3
小型屋外作業機械 ・農業用管理機械	3,097	54.4	4,820	71.6	+ 55.6
一般産業用機械	▲ 2	▲ 0	▲ 544	▲ 8.1	-
その他	7,541	132.6	8,253	122.6	+ 9.4
全社共通費	▲ 4,948	-	▲ 5,798	-	-

セグメント別地域別売上高実績



四半期別 業績推移



2. 2017年3月期 業績見通し

2017年3月期(通期) 予想



(百万円)

	16/3期 実績		17/3期 予想		前期比(%)
		構成比(%)		構成比(%)	
売上高	113,348	100.0	114,000	100.0	+ 0.6
売上原価	80,771	71.3	80,700	70.8	▲ 0.1
販管費	25,846	22.8	26,300	23.1	+ 1.8
営業利益	6,730	5.9	7,000	6.1	+ 4.0
経常利益	6,402	5.6	7,000	6.1	+ 9.3
親会社株主に帰属 する当期純利益	4,700	4.1	4,800	4.2	+ 2.1

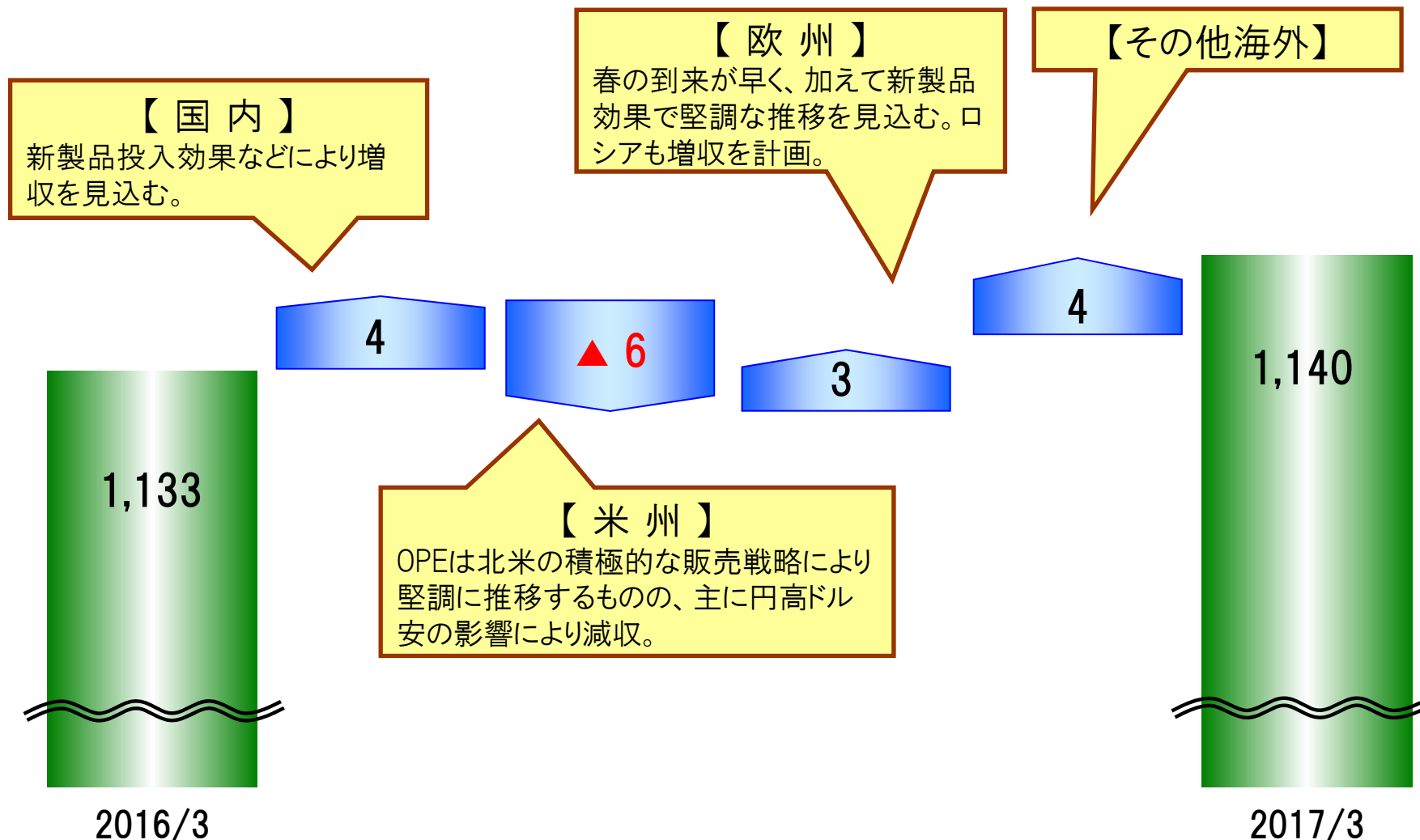
為替レート

1ドル	当社レート	121 円	110 円	▲ 9.1
	米国子会社 換算レート	121 円	110 円	▲ 9.1
1ユーロ		132 円	120 円	▲ 9.1

- ✓ 海外は北米OPEの現地販売が引き続き堅調に推移するものの、為替の影響が響く。ロシアを始め欧州は回復を期待するほか、低迷が続いた産機や農機も増収に転ずる見込み。
- ✓ 損益面では、円高による利益減少が見込まれるものの、販売台数の増加に加え、「未実現利益」が上押し要因となる見込み。

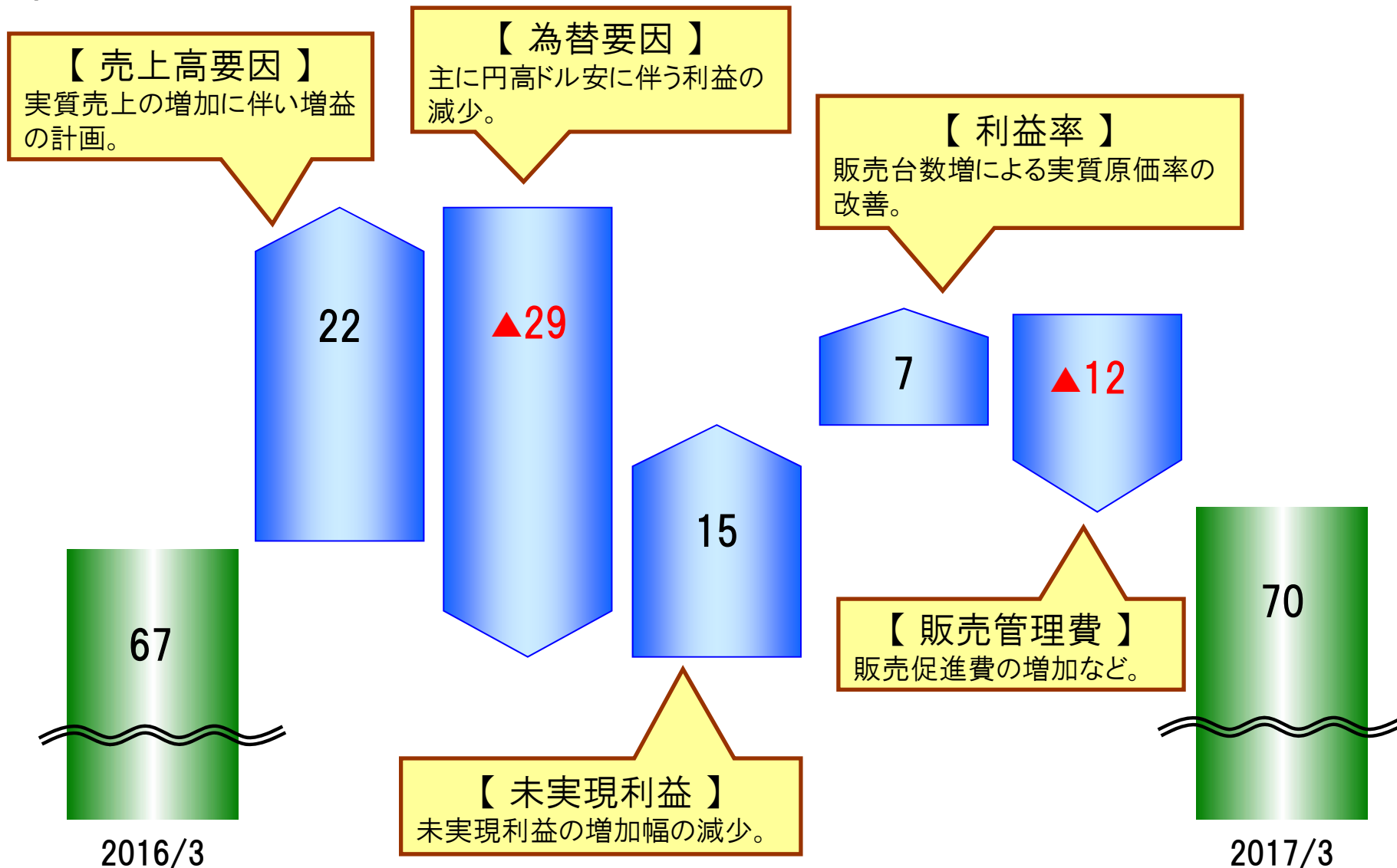
連結売上高の増減(予想)

(億円)



連結営業利益の増減(予想)

(億円)



中期経営計画2017年次推移



基本三事業の拡大
強固な経営基盤の構築

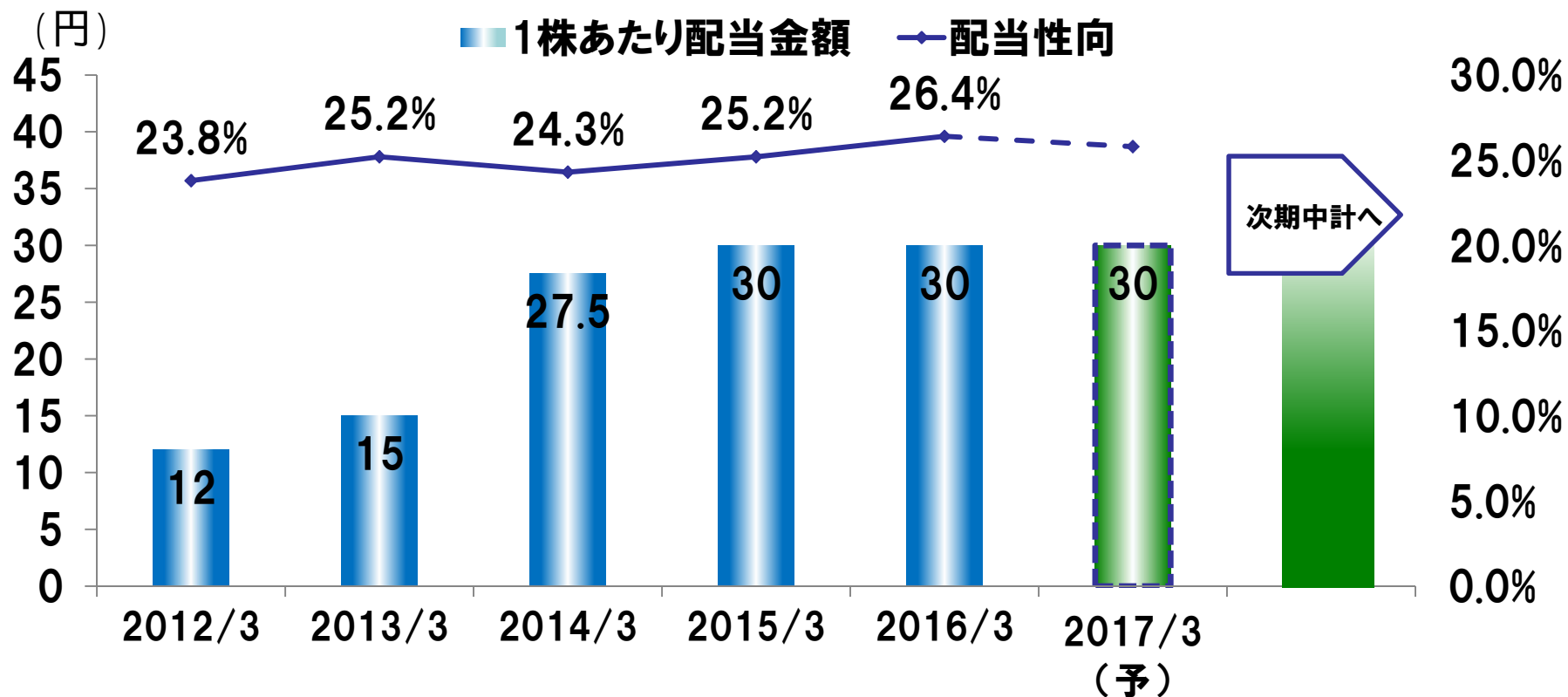
世界水準の競争力を有する
企業構造の確立



株主還元の考え方

株主還元は配当を中心にする

- 安定配当の継続
- 配当性向25%を目安



(注)2015年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。各期を比較しやすいように、株式分割考慮後の金額を記載しております。

添付資料



株式会社やまびこ
会社概要

『やまびこ』の概要



会 社 名	株式会社やまびこ (YAMABIKO CORPORATION)
設 立	2008年12月1日
本 社	東京都青梅市末広町一丁目7番地2
売 上 高	113,348百万円 (2016年3月期連結)
資 本 金	6,000百万円
決 算 期	3月31日
連 結 子 会 社 数	17社 (国内10社・海外7社 / 2016年3月末現在)
従 業 員 数	3,107名 (2016年3月末現在 / 連結)
上 場 市 場	東京証券取引所第一部
証 券 コ ー ド	6250
発 行 済 株 式 総 数	44,108,428株 (2016年3月末現在) ^(注)
単 元 株 式 数	100株

(注)2015年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行いました。

	 株式 会社 共立	新ダイワ工業株式会社
設立(創業)	1947年(昭和22年)	1952年(昭和27年)
取扱ブランド	  国内の農林業機械 全世界の小型屋外作業機械	 全世界の小型屋外作業機械・一般産業用機械

《 資本提携以前の小型屋外作業機械 (OPE※) 市場の状況 》

- ★ 欧米 (特にアメリカ) の排出ガス規制への技術的対応
- ★ グローバルレベルでの業界再編・競争激化
- ★ 新興国企業の廉価攻勢
- ★ 顧客ニーズの多様化

《 資本提携・共同持株会社設立・合併までの経緯 》

2007年 5 月 業務・資本提携基本契約締結

2008年12月 共同持株会社『やまびこ』設立

2009年10月 『やまびこ』が 共立 および 新ダイワ工業 を吸収合併し事業会社化

< 社名の由来 > 山の神様である「山彦」を社名に掲げ、自然と環境の育成、整備への貢献を理念に持つ会社姿勢の象徴とする。

※Outdoor Power Equipment



長年にわたる蓄積

技術力・生産能力・ネットワーク



合併シナジー顕在化

ラインナップ・販路の拡大

17カ国・128回におよぶ
サービススクールの実施
(2014/4~2016/3)

充実したテクニカル
サポート体制

鉄めっき・放電加工

独自の生産技術力
一貫生産能力

鋳造→機械加工
→めっき→組立

高い製品シェア
例) 小型屋外作業機械 (OPE)
世界:約10% / 日本:30%以上

3つの事業

ラインナップ
販売ネットワークの拡大

世界90カ国以上
2万8千店舗

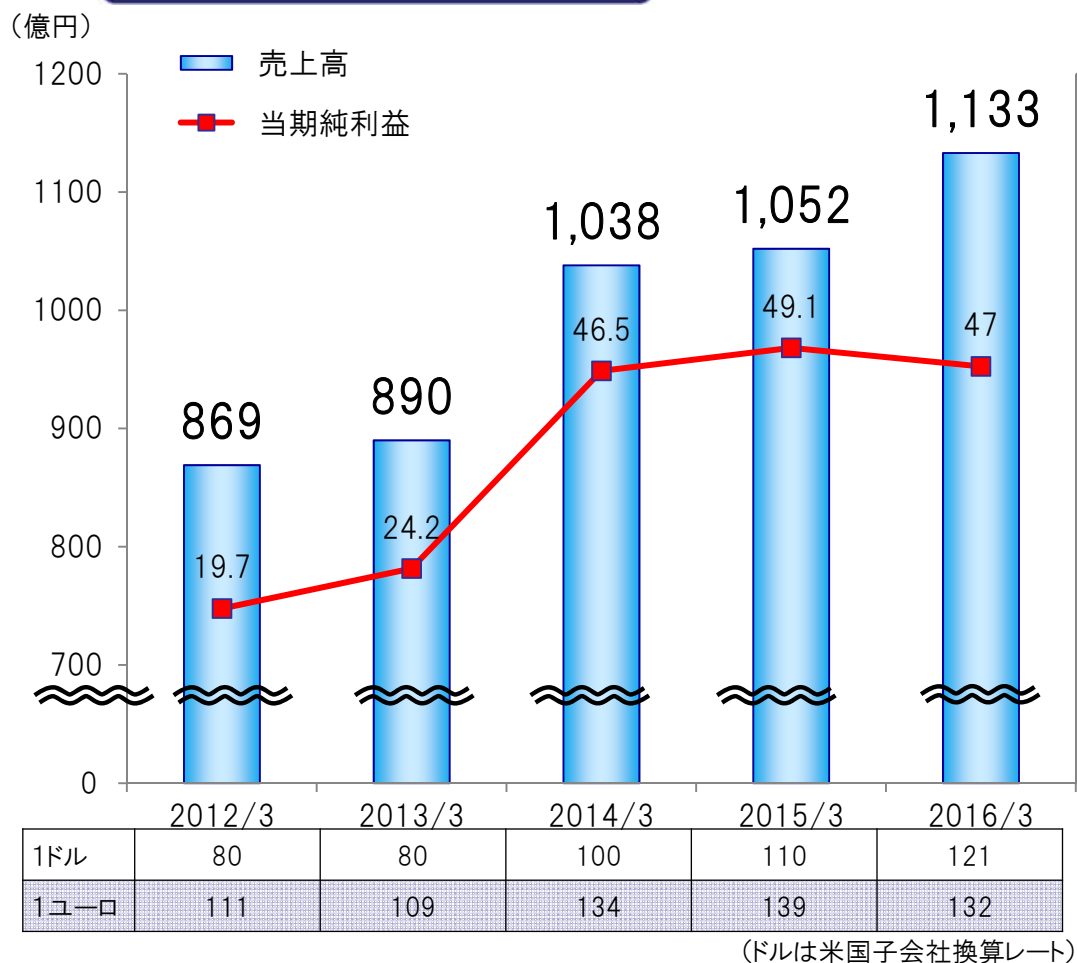
各事業固有の
研究・開発力

米国EPA認証数トップクラス
エンジン

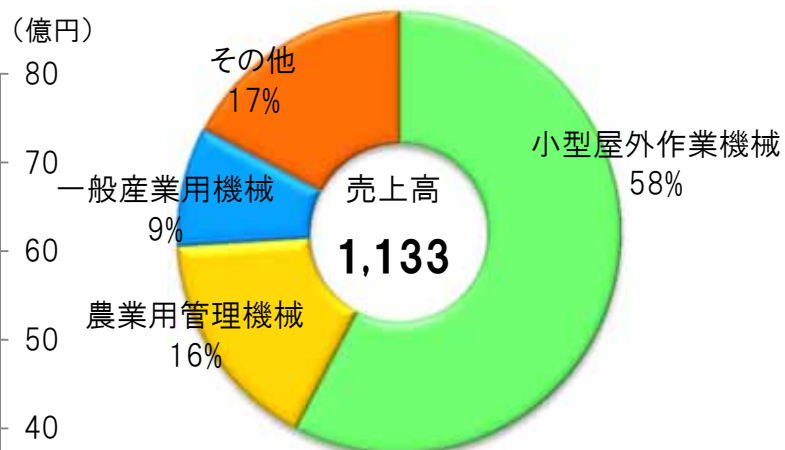
“グローバル”での“高い競争力”を実現

為替の影響を受けながらも着実に業績向上 / 海外売上高が60%

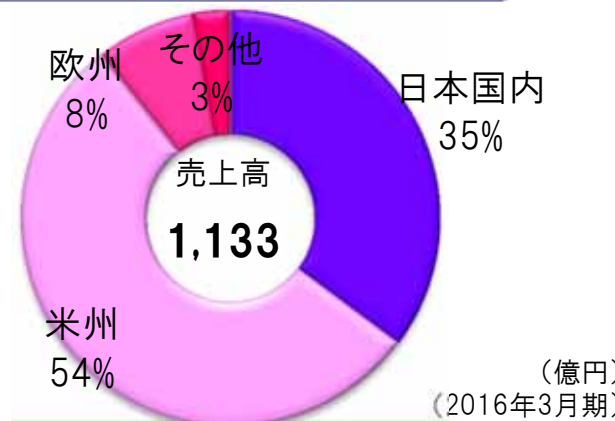
売上高推移



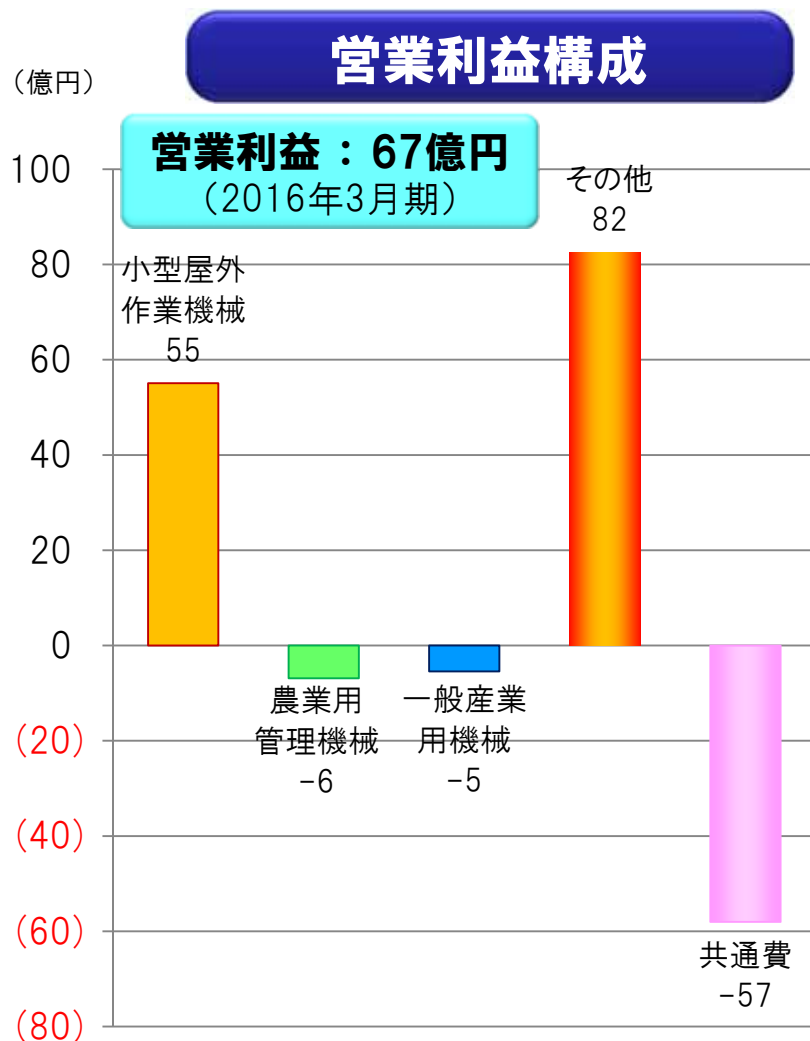
事業別売上高



地域別売上割合



【 その他セグメント（アクセサリー・スペアパーツ）】の収益性



補足資料

セグメントの概要

セグメント	事業	概要
小型屋外作業(OPE※) ・農業用管理機械	小型屋外作業機械	「手で持つ」もしくは「背負って」使用する小型エンジンを搭載した機械の製造販売
	農業用管理機械	国内における防除機械、北米における農作物収穫機械、欧州を中心に展開する自動芝刈機の製造販売
一般産業用機械		建設・土木・鉄工用機械の製造販売
その他		上記機械のアクセサリ、部品の製造販売とアフターメンテナンス

主要製品

セグメント	事業	主要製品
小型屋外作業(OPE※) ・農業用管理機械	小型屋外作業機械	刈払機、チェーンソー、パワーブロワ、ヘッジトリマー
	農業用管理機械	防除機(動力噴霧機、スピードスプレーヤ、乗用管理機)、畦草刈機 大豆収穫機、自動芝刈機
一般産業用機械		発電機、溶接機、投光機、切断機、高圧洗浄機
その他		部品(アフターメンテナンス)、アクセサリ

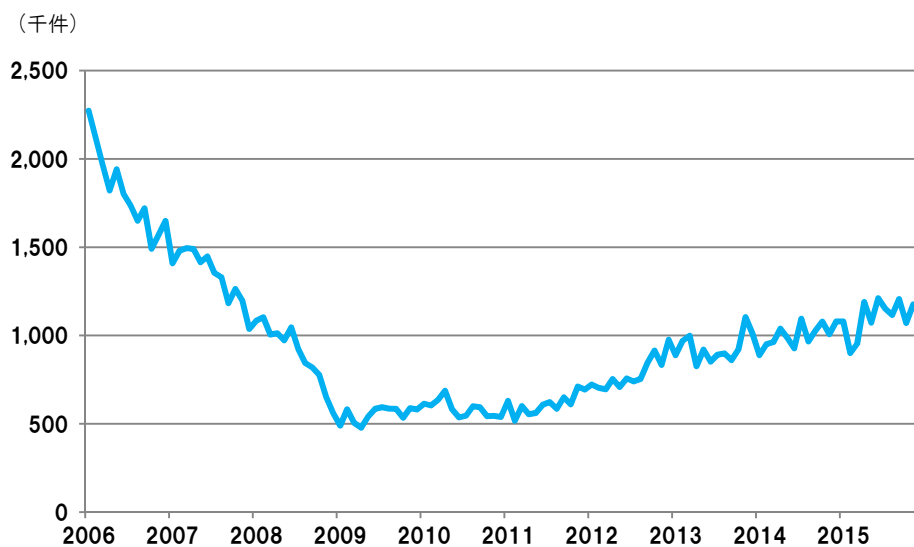
※Outdoor Power Equipment

海外市場における関連指標等



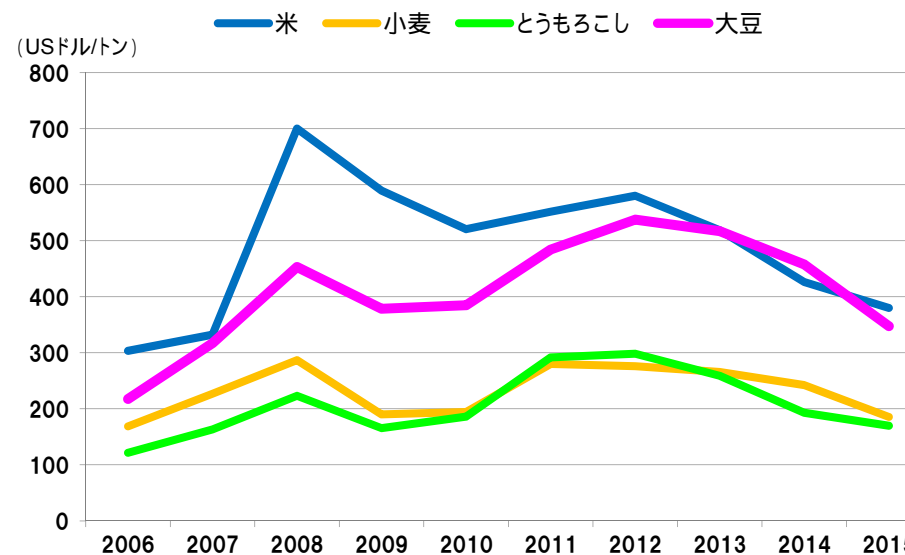
事業	関連指標等
小型屋外作業機械	北米:住宅着工件数 等 南米:穀物価格(大豆、トウモロコシ、コーヒー) 等 露:原油価格 等
農業用管理機械	米国:穀物価格(大豆、トウモロコシ) 等
一般産業用機械	北米:原油価格 等

米国住宅着工件数
(季節調整済年率換算値)



U.S.Census Bureau: New Residential Construction

穀物価格



IMF - Primary Commodity Prices

国内市場における関連指標等

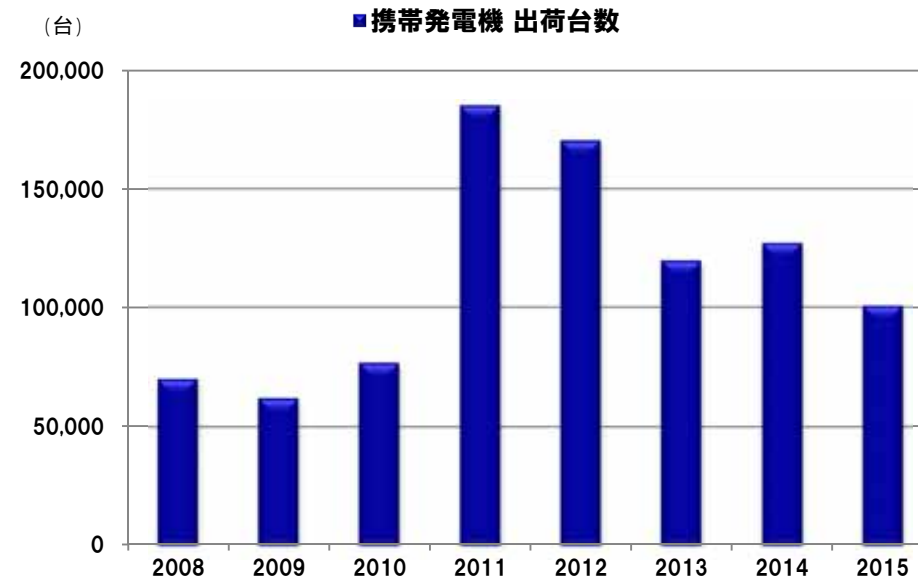


事業	関連指標等
小型屋外作業機械	(一社)日本農業機械工業会出荷実績(刈払機)、米価 等
農業用管理機械	(一社)日本農業機械工業会出荷実績(防除機)、米価 等
一般産業用機械	(一社)日本陸用内燃機関協会(携帯発電機)、(一社)日本建設機械工業会出荷金額統計(その他建設機械)、建設関連業等の動態調査報告、工作機械受注高 等

出荷実績



注: 会員企業の入退会に伴い、2014年4月より報告会社数に変更。(防除機: 7社→6社、刈払機: 11社→12社)
(一社)日本農業機械工業会出荷実績



(一社)日本陸用内燃機関協会携帯発電機研究会集計(3kVA以下)

【3つの事業】 ① 小型屋外作業機械（OPE）



チェンソー



刈払機



パワーブロワ



ヘッジトリマー

小型エンジンを搭載した小型屋外作業機械

高い開発力
長年にわたるノウハウの蓄積 顧客ニーズにきめ細かに対応可能

高性能・高耐久・高品質エンジン

小型・軽量・高出力
(手持機械に最適)

環境対応エンジン認証数
業界トップクラス

小型エンジンに必要な技術を保有

2ストローク 2ストローク (層状) 4ストローク (混合) 4ストローク (分離)

当社の強み② 販売ネットワーク

2014年実績



世界 90カ国以上 / 2万8千店の販売ネットワーク

国内



動力噴霧機



乗用管理機



スピードスプレーヤ

海外



大豆収穫機



ジャガイモ収穫機

技術的な強み

国内： 共立の創業時の理念「食糧増産による社会貢献」を礎に長年にわたって蓄積してきた送風技術・噴霧技術・ポンプ技術。

海外： 収穫効率向上のための送風技術(特許)。機器の軽量化・小型化の技術。

やまびコノズルの噴霧状態 (扇形状)
(平均粒子径 110~270 ミクロン)



ドリフトが少ない

農薬飛散を低減させる
やまび自社開発ノズル



共立独自の整流機構

効果的な農薬散布を
可能にした整流機構



エンジン溶接機



ディーゼルエンジン発電機



ガソリンエンジン発電機

技術的な強み

新ダイワ工業の創業時から蓄積されたACモータ開発技術を進化・発展させた発電機設計技術・電子制御技術・防音技術。



世界初の三相/単相3線切替なし
同時出力可能（米国特許・国内
特許取得済み）



防音技術

小型屋外作業機械 (OPE)

開発本部研究開発部

先行技術・要素技術の研究・開発および解析業務

開発本部開発第一部

製品の設計・開発

開発本部開発第二部

電動製品の設計・開発

開発本部実験部

製品の試験

エコー・インコーポレイテッド
(米国)

用途開発・製品試験

《開発の重点》

- グローバルレベルでのエンジン排ガス規制対応
- 北アメリカでの燃料透過規制対応
- ヨーロッパでの騒音および振動規制対応
- 小型軽量化・低騒音・低燃費・耐久性向上・安全性向上

農業用管理機械

農業機械本部開発部

農業用管理機械
などの設計・開発

クレイリー・インダストリーズ
(米国)

チッパーシュレッダー・
大型農業機械などの開発

クレイリー・アグリカルチャル・ソリューションズ・エル・エル・シー (米国)
農業用排水管理設機械の開発

ベルロボティクス・エス・エイ (ベルギー)
自動芝刈機の開発

《開発の重点》

- ドリフト対策・適量散布・高性能化・操作性簡便化

一般産業用機械

産業機械本部開発部門
発電機、溶接機などの
設計開発

《開発の重点》

- 小型軽量化・低騒音
・高性能・高機能
・低燃費

電子・電気制御

電子制御研究所

電子・電気制御技術の研究

《研究の重点》

- 電子制御化

● 生産本部横須賀事業所

小型屋外作業機械の製造(鋳造・金属処理・機械加工・組立 等)

● 生産本部盛岡事業所

小型屋外作業機械の製造(機械加工・塗装・組立 等)

防除機の製造(板金・塗装・組立 等)

※ 防除機の搭載エンジンは他メーカーからの調達

● 生産本部広島事業所

小型屋外作業機械の製造(機械加工・組立等)

発電機・溶接機・電動工具の製造(組立 等)

※ 発電機等の搭載エンジンは他メーカーからの調達

● 生産関連子会社

追浜工業株式会社(横須賀市)：電装部品・歯車

双伸工業株式会社(青梅市)：樹脂部品

株式会社ニューテック(長野市)：鋳造部品

やまびこエンジニアリング株式会社(安芸高田市)：板金加工

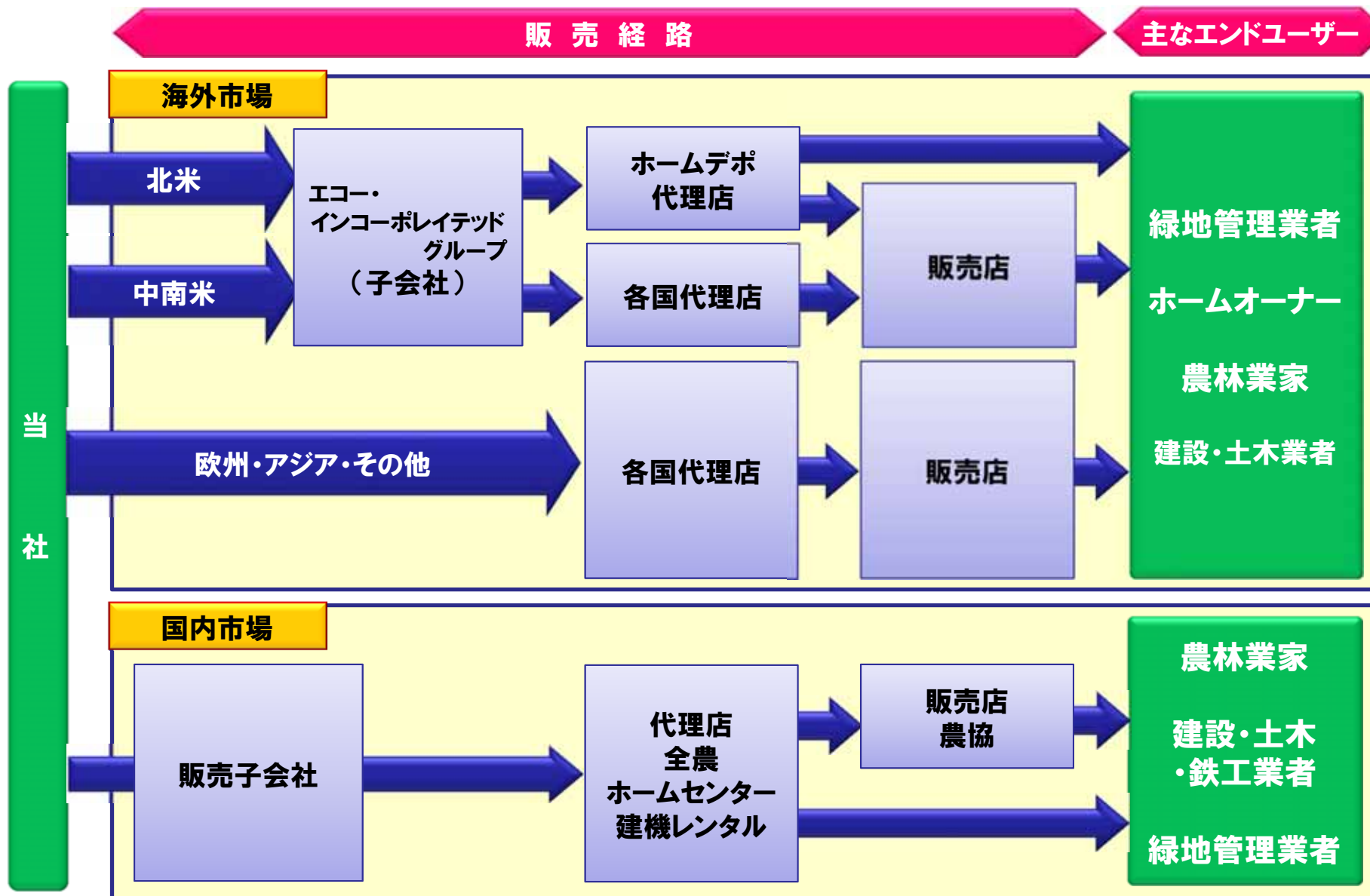


海外生産体制

- **エコー・インコーポレイテッド（アメリカ イリノイ州）**
小型屋外作業機械の製造 ※エンジンおよび一部部品は当社国内工場から支給
- **クレイリー・インダストリーズ（アメリカ ノースダコタ州）**
チップーシュレッダー・大型農業機械等の製造
- **クレイリー・アグリカルチャル・ソリューションズ・エル・エル・シー（アメリカ ミネソタ州）**
農業用排水管理設機械の製造
- **クイック・プロダクツ・インク（アメリカ アリゾナ州）**
当社製品のスペアパーツ等の製造
- **ベルロボティクス・エス・エイ（ベルギー ブラバン・ワロン州）**
自動芝刈機の製造
- **愛可機械(深圳)有限公司（中華人民共和国 広東省）**
小型屋外作業機械の製造 ※エンジンおよび一部部品は当社国内工場から支給
- **やまびこベトナム（ベトナム トゥーザウモット市）**
一般産業用機械の部品製造



主な販売経路



販売店



主なエンドユーザー

海外市場



海外における販売店ではブランド別に製品を展示。販売員が、エンドユーザーのニーズを聞きながら対面販売。



ホームセンターにおいては各機種群別・価格別に製品を展示。エンドユーザーはニーズや予算およびCM等で得たイメージをもとに購入する。



海外市場

緑地管理業者

ホームオーナー

農林業者

建設・土木業者

国内市場



販売店や代理店と協力しながら展示会を実施し、実演や試乗を通じて販売。
販売店と共にエンドユーザーを訪問しユーザーのニーズを捉えたうえで、製品を販売。

国内市場

農林業家

建設・土木
・鉄工業者

緑地管理業者

主なグループ会社の状況

		小型屋外作業機械 (OPE)	農業用管理機械	一般産業用機械
海外	生産 販売	エコー・インコーポレイテッド 愛可機械	クレイリー・インダストリーズ クレイリー・アグリカルチャル ・ソリューションズ・エル・エル・シー ベルロボティクス・エス・エイ	エコー・インコーポレイテッド
	生産	クイック・プロダクツ・インク		やまびこベトナム
	販売	ゴールデンイーグル ディストリビューティング		
国内	生産 販売	ニューテック		
	販売	やまびこ北海道／やまびこ東北／やまびこ東部／やまびこ中部 やまびこ西部／やまびこ九州／やまびこ産業機械		
	生産	追浜工業 双伸工業		やまびこエンジニアリング

人と自然と 未来をつなぐ

私たちやまびこグループは、事業の発展を通じて、
世界中の自然環境と、共に歩む全ての人の
美しい未来をつくる、そんな企業を目指します。

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

【お問い合わせ先】

株式会社やまびこ

総務部株式IR課 神田・千原

〒198-8760 東京都青梅市末広町1-7-2
TEL :0428-32-6111 FAX: 0428-32-6143
e-mail:ir@yamabiko-corp.co.jp